

# アイリス Letter

## 保護者の皆様へ

2023年7月1日発行  
第3号  
広島女学院中学高等学校



### 聖書のことば

わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。おのおの善を行って隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。

ローマの信徒への手紙 15章1、2節

6月も多くの学校行事がありました。ご家庭のご協力のもと、生徒たちが充実した学校生活を送ることができています。ありがとうございます。

14日(水)には、グリーンアリーナで体育大会を行いました。中1から高3までのすべての生徒が集まり、自分の持てる力を存分に発揮した一日となりました。多くの保護者の方に、その姿を観ていただきました。

翌週、19日(月)から24日(土)は、平和を祈る週でした。24日(土)の特別礼拝の講師として、フセイン・ハルドゥーン先生をお招きしました。シリアのダマスカス大学で日本語学を学ばれた方です。その後日本へ留学され、最初が広島であったので、広島は「第2のふるさとです」と言われます。礼拝後に先生からお聞きしたのですが、2011年の内戦時に、日本語学を教えていた日本人は皆国外に退去せざるを得ず、現在でもダマスカス大学では日本語学を教えることができていないそうです。シリアは、今年の2月のトルコ地震でも大きな被害がありました。支援というとまず経済的な側面が浮かびますが、その国を次世代につなげていくために、文化や教育の面がとても大切であることを教えていただきました。

6月9日(金)には、2015年度のキリスト教強調週間の講師をしていただいた永遠璃マリールイズさんが来られました。福島に住まれ、「ルワンダの教育を考える会」の理事長をされています。現地に学校を設立され、ルワンダの子どもたちが教育を受けています。その学校にいる子どもの写真と、教育を受ける環境がなく水くみをしている子どもの写真を並べ、この格差が新しい争いのもとになってしまうことが心配だと言われました。

お二人とも、教育の大切さを何度も言われました。誰でも教育を受けることが当たり前の日本の環境の中で、私たちは教育が大切だと心から思うことができているのでしょうか。

1学期も終わりに近づき、来週は期末テストの時を迎えます。学習に対するしんどさを感じることもあると思いますが、一方で学ぶことの楽しさや喜びも感じてほしいと願っています。

(校長)



## 体育大会

今年度はG7広島サミットの影響により、毎年5月に行ってきた体育大会を6月14日(水)に開催しました。昨年からグリーンアリーナでの実施となっており、今年も天候に左右されることなく無事に実施することができました。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、応援や観戦の制限もなくなり、ようやくかつてのような賑わいを取り戻しました。6月の実施ということで、教育実習に来ていた卒業生も共に参加し、運営に携わってくれました。これまでは女学院大学のグラウンドで体育大会を実施していたので、グリーンアリーナでの体育大会を実習生達はとても新鮮に感じているようでした。



競技は今年も中学生の徒競走から始まり、学年種目、五色対抗種目など盛りだくさんでした。五色の「足並みそろえて」では、生徒の団結力が試され、足を結ぶ人数がどんどん増えていく高校生は難易度がとても高かったようです。ですが女学院で一緒に過ごした時間が長い分、各色とも特に高3は息の合った走りを見せてくれました。そして例年通り中1の「台風



目の目」と高3の「むかで競争」は各クラスの担任の先生が生徒と一緒に参加し、会場を一気に盛り上げてくれました。先生方の一生懸命な姿に生徒たちは元気をもらっていました。また、今年から新種目となった中2の「綱引き」では、体育大会らしい力と力のぶつかり合いで、中学生の底力を発揮してくれました。昼休みには今年も高校生による応援団の応援合戦がありました。例年に比べて、少し長く準備期間をとることができたので、より工夫を凝らし、各色それぞれに素晴らしい応援を作り上げていました。

午後からの競技では、高1による新種目「台風の目 Ver.2」があり、高校生の迫力と、生徒と一緒に担任の先生が走る姿に会場は大盛り上がりでした。体育大会と言えば恒例の競技、中学生による「玉入れ」では、各色50個以上の玉が見事にかごに入り、1位と2位は1個差という白熱の結果でした。終盤では女学院の体育大会になくはならない「着せつけ競走」があり、今年も高3の生徒が考えた仮装を、それぞれの色ごとに先生に着せつけていきました。先生方が何に変身するのか、見ている場内もワクワク・ドキドキしていました。完成後は会場内をみんなで一周し、放送部によるインタビューに答えていました。先生方がそれぞれ変身したキャラクターになりきっている様子に、観客席からは、大きな歓声が上がっていました。最終種目の「五色対抗リレー」では、中高共に下級生から上級生にバトンをつないでいき、会場全体が息をのんで結果を見守りました。どの色も最後まで決してあきらめずに走る姿に感動をもらいました。



今年の体育大会でも学年を超えて共に応援する姿や、協力して競技の運営をする姿に、女学院生のたくましさや縦のつながりを感じました。日頃の学校生活ではなかなか得ることが

できない感動や経験をこれからの女学院での生活に活かしてもらいたいと思います。体育大会実施にあたり、多くの皆様のご協力のおかげで、滞りなく実施できましたことに感謝しております。ありがとうございました。

(体育科)

## 平和を祈る週（6／19～6／24）

6月24日(土)の特別礼拝では、東京外国語大学世界言語社会教育センター特任講師として務めるフセイン・ハルドゥーン (*HUSSIEN Khaldoun*) 先生をお迎えしました。フセイン・ハルドゥーン先生は、シリア・ハマ市出身で、ダマスカス大学日本語学科卒業の後、JICAで3年間勤務しました。大学での日本語の学びがきっかけとなり、2010年には広島大学教育学部、更に広島市立大学・大阪大学・同志社大学での学びを経て、現在は東京外国語大学世界言語社会教育センター特任講師を務める傍ら、平和問題を扱うジャーナリストとして活動をされています。



礼拝では、「わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。おのおの善を行って隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。」(ローマの信徒への手紙 15章 1～2節)の聖書箇所を選ばれ、「シリアから鑑みる平和への道しるべ」と題してメッセージをいただきました。初めに、日本にとってはほとんど未知の国シリアの紹介や現状について語られました。日本人が持つ中東の国々、とりわけシリアのイメージと、シリアの方々が持っている日本のイメージを用いて、両国におけるステレオタイプ(先入観・固定観念)について語られました。

世界文明の発祥地であり、古代シルクロードの重要な拠点でもあったシリアの地政学的にも豊かな環境が、2011年に始まった内戦がもたらした結果、そして戦争がもたらす脅威について話して下さいました。シリアでの戦争・紛争の傷跡は凄まじいものであり、戦争とは家族同士でも敵の立場になって生死をかけて戦うこともあること、また戦争とはどのような立場の人にも悲惨な結果しか生み出さないことをリアルに感じさせられました。



また、内戦から13年が過ぎた現在のシリアでは戦争の復興の途上にありますが、思いも寄らない地震災害によって、大勢の方々が生活の面で苦しんでいるとのこと。一日20時間以上の停電が続いたり、インフレによる物価の上昇、働くための職場すらない状況にある人々など、大勢の方々が生きるために命をかけて海を渡ろうとしている現状について知らされました。

一方で、内戦や災害に伴う教育施設や教育インフラの崩壊の状況にあっても、教育にこそシリアの未来が託されていることを重んじながら、その環境整備に力を注いでいる取り組みについても教えて頂きました。そこには多くの国からの支援があり、そうした支援がシリアの子どもたちにとって大きな支えとなっていること、さらに生きる希望を失っている子どもたちに生きる意味を与えることにも繋がっていることも語られました。

最後に、大切なのはおのおの善を行うことや隣人を喜ばすこと、そして互いのために覚えて祈ることが大事であり、聖書を通してこれからも平和について共に考えていってほしいと話されました。

週間中の中学では、上空通路を舞台に各クラスで作成した平和へのメッセージを展示した「女学院平和ロード」を作りました。また、朝の登校時に各学年の礼拝委員と中学五人委員会の生徒が、校門の前で挨拶を行いました。コロナの影響で3年ぶりとなった校門での挨拶を通して、お互いの笑顔が溢れる光景が多く見られました。なお、中学お昼の集いでは、中1の礼拝委員企画の放送で、先生方の平和やヒロシマについてインタビューが生放送で行われ、3名の先生からメッセージを頂きました。中2の礼拝委員企画の「目指せ！平和のクイズ王」では、放送部の協力のもと、平和や広島をテーマとしたクイズ大会が行われました。それ以外にも、高校チャペルで行われた高3生による沖縄フィールドワークプレゼンテーションや講師を囲む会にも足を運び、新たな出会いと学びに遭遇することができました。



高校の昼の集いでは、3年生が2日間にわたり、昨年の沖縄修学旅行についてプレゼンを行いました。各コース、自分の学んだことや感じたことを伝え、時にはクイズを交えながら発表してくれました。高校2年宗教委員企画としては、5人の先生へのインタビューを放送しました。「先生にとっての平和とは？」や「先生にとって神さまとは？」など、普段聞くことの出来ないお話を聞くことができました。高校1年宗教委員企画として、讃美歌イントロドンを開催しました。普段何気なく歌っている讃美歌ですが、これからは奏楽にもしっかりと耳を傾け、神さまを賛美していければと思います。

(宗教教育委員会)

## グローバル研究・成果発表会（高校）

6月17日（土）3・4限に、グローバル研究・成果発表会を行いました。今年度は、3年ぶりに実施された海外研修に参加した皆さんからの報告と、高3GI生のリサーチ報告を行いました。プログラムは以下の通りです。

### ◆海外研修の部

1. カンボジア研修
2. マウントユニオン大学研修（訪問先：アメリカ）
3. 日米韓高校生交流事業（訪問先：韓国）
4. カケハシ・プロジェクト（訪問先：アメリカ）

### ◆高3 Global Issues の部

『不耕起栽培がどうして環境保全型農業を進める役割を果たせていないのか』

発表会の冒頭、司会のコール先生が「Travelling is the best education.」という言葉を紹介してくださいました。各海外研修の発表からは、この言葉通り皆さんが研修旅行を通してどれだけ大切なものを得たのかが伝わってきました。また高3GIの発表は、長期に渡る研究、



準備、練習を積み重ねたもので、大変見ごたえのあるものでした。

聴衆の皆さんも熱心に聴き、たくさんの質問をしてきて、素晴らしい発表会となりました。この発表会が、一人ひとりがグローバルな視野をさらに広げるきっかけになることを願っています。

(グローバル教育推進部)

## とわり 永遠璃マリールイズさんをお迎えして

6月9日(金)、数年ぶりに永遠璃マリールイズさんが本校に来てくださいました。マリールイズさんはアフリカのルワンダのご出身です。まずはルワンダという国について、興味をそそられるような写真を見せて下さりながら、「ルワンダといえば、今でも約30年前の大虐殺のことを思い起こす人が多いですが、ルワンダは観光資源も豊富で食べ物もとてもおいしく、過ごしやすい気候です。もっと美しい国・ルワンダのことを知ってほしいです」と話を始められました。



とてもきれいな日本語で話をして下さいましたが、1993年に初来日されたとき(青年海外協力隊のプログラムで福島で洋裁の研修)にはまったくわからなかったそうです。福島でのホームステイ先は独り暮らしの80代の「おばあちゃん」と生活をともにし、そのなかで日本語を身につけたこと。1年後にルワンダに帰国した直後に内戦が勃発したときの恐怖。ほどなくして隣国のコンゴの難民キャンプに子供3人を連れて避難した際、偶然出会った日本人医師の通訳として活動したこと。その後、研修時代の仲間の尽力により家族で再来日したことなど、前半は日本に帰化されるまでのお話でした。

様々な活動を通して、ルワンダと日本の橋渡しをするなかで、ある日ルワンダの子どもに何気なく「将来は何になりたいの?」と尋ねたところ、「僕たちが大きくなるまで生きてると思う?」という返答に大きな衝撃を受け、「この子が『将来の夢』を語るような国にしなければ」と決意するに至ります。そして2000年に「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、首都・キガリ市内に学校を設立、現在でも200人以上の子どもたちが学んでいます。この学校を維持するため、マリールイズさんは命の尊さ、教育の大切さを日本全国で講演し、日本からルワンダの教育支援に奔走しておられます。マリールイズさんのお話から、ルワンダという国のことだけでなく、教育の原点や他者を思う想像力の大切さについて考える機会になったと思います。

福島在住のマリールイズさんは東日本大震災と原発事故への取り組みとして、「ひまわりプロジェクト」も手がけておられます。ひまわり栽培の協力者を全国から募っていますが、内容としては、食用ひまわりの種を栽培→花を楽しむ→種を採取して乾燥させる→プロジェクトの団体に送る→圧縮絞りでひまわり油「みんなの手」となり、最終的には障がい者施設の製品となります。ひまわりの種をご希望の方は高見までご連絡ください。(学校の代表電話またはメール [takami@hjs.ed.jp](mailto:takami@hjs.ed.jp) まで)

(高校教頭)

## 教育実習について

卒業生 15 名が 6 月 1 日から 3 週間（または 2 週間）、教育実習を行いました。G7 広島サミットの影響で例年と異なり、実習期間中に体育大会が実施されましたが、実習生も楽しんで参加できました。また係分担も生徒とともにこなしました。

限られた時間の中で、実習生たちは教員として生徒に接すること、教えることや学びを引き出すことの難しさ、授業準備の大変さに気付くことができたようです。彼女たちの今後の活躍を期待します。

（教育実習係）

## 保健室だより（3）

「むし暑い」から「暑い」になる季節です。今年も保健委員による暑さ指数（WBGT）の掲示が始まっています。強い日差しで無風、暑さに慣れていない、朝食抜き、睡眠不足、そして何より水分の補給が乏しく脱水症の場合は、熱中症のリスクを高めます。熱中症は予防ができる疾患です。発生させないための予防措置を進めていきましょう。

学校に居る間の水分補給量の目安は、500 ml ペットボトル 2 本分です。運動部や屋外での活動が多い日は、それ以上必要です。水筒の中が空になったらウォータークーラーで水を汲んで、こまめに飲むよう促しますので、ご家庭では、十分な睡眠と食事にご協力ください。

暑熱環境下、あるいはその後の体調不良はすべて熱中症の可能性があります。軽症ではめまい、立ちくらみ、こむら返り（熱けいれん）、脱力や手足のしびれ、大量の汗など、中等症では強い倦怠感（熱疲労）に加え、ぼーっとするなどの意識の低下がみられます。重症になると、明らかな意識障害、全身けいれん、呼吸困難、嘔吐、下痢などがみられ、入院治療が必要となります。

例年、応急処置を即座に開始することで回復できる場合がほとんどですが、水が飲めず症状が改善しない場合は、医療機関へ搬送します。重症化させないためにも、熱中症の危険性についてお子さまとお話をされてみてください。



（保健室）

## 心の健康（3）

7 月の学校生活は、月の前半と後半とで大いに違いがあります。前半は期末テストで、後半は夏休みです。状況に見合った子ども達への心配りが要る 7 月です。

テストでは自分の力が試されます。人は誰でも試されると強いストレスを受けます。ただ、テストによるストレスに対しては勉強しておけばいいわけで簡単なことです。が、勉強はそう楽々と出来るものではありません。

子ども達は、「やらないやいけん」と思い、「やろう」とし、「できん！」と投げ出し、「やっぱり、やろう」と思いを変えたり、心が微妙に揺れ動いたりします。こういう時の親の一言は子どもにとってストレスになったり励ましになったりしやすいのです。

ほどよい頃にほどよく声をかけて、親子でホッと一息入れる短い時間を持つゆとりを大人が作りたいものです。後半は夏休みです。

（カウンセラー）

## 教職員の動向

○4月17日に数学科の田中先生に男児が誕生されました。おめでとうございます。  
ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。

## 生徒の活躍

### ◇高校新体操部

第76回広島県高等学校総合体育大会（6月3日） 新体操の部  
団体3位 広島女学院A → 団体競技での中国大会出場権獲得  
団体4位 広島女学院B

第64回中国高等学校新体操選手権大会（6月10日） 団体 9位

### ◇中学ソフトテニス部

第52回広島市中学校ソフトテニス選手権大会

- ・女子団体戦（6月3日） → ベスト8、県大会への出場権獲得  
（Y. R・I. Nペア、M. M・N. Kペア、T. R・Y. Rペア、N. N・K. Hペア）
- ・女子個人戦（6月10日）  
5位 M. M・N. Kペア → 県大会への出場権獲得





## 今月の聖句

「正義が造り出すものは平和であり  
正義が生み出すものは  
とこしえに安らかな信頼である。」

イザヤ書 32 章 17 節

平和を実現させようという大義の底にかかげられて来た「正義」は、時代と場所によって変容してきました。そのような「正義」の実像は、人間のエゴイズムだったと言われます。平和を求める声がより響く時代だからこそ、全ての人にとってとこしえに安らかな信頼を置けるような「正義」について考える必要があります。そして、そうした「正義」を問い続けることが今を生きる私たちへ求められている祈りではないでしょうか。

(聖書科 K)

## 7月の行事予定表

1	土	臨時休校
2	日	
3	月	
4	火	期末テスト(中3、高1・2・3) 木曜授業1限8:55～(中1・2) 中2チャレンジキャンプ保護者説明会
5	水	(全学年)1限8:55～15分休憩
6	木	1限8:55～15分休憩
7	金	1限8:55～15分休憩 部室掃除
8	土	高1・2・3進研記述模試
9	日	
10	月	テスト予備日(自宅学習日)
11	火	テスト返却 1限8:55～30分授業
12	水	[NC]
13	木	40分授業 1限8:40～
14	金	1限8:55～ 期末テスト素点確認
15	土	生徒支援部講演会 (総) 1限8:40～1,2限 40分授業 3,4限50分授業
16	日	
17	月	海の日 るんるん女学院
18	火	1限8:40～
19	水	月曜授業 1限8:40～ [NC]
20	木	水曜授業
21	金	終業の日 大掃除 面接・高3補習
22	土	
23	日	
24	月	リーダープレキャンプ 勉強合宿
25	火	
26	水	English Trip
27	木	
28	金	
29	土	夏期海外生活体験学習
30	日	高3河合マーク模試
31	月	

NC・・・ノークラブデイ

※行事予定は変更になることが  
あります

